脳・脊髄・末梢神経疾患の臨床研究に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2024 年 2 月 28 日～ 2034 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

脳・脊髄・末梢神経疾患の臨床研究

〔研究目的〕

脳神経外科では、広く、脳・脊髄・末梢神経疾患を対象として治療を行っています。これらの疾患は、死因の第 4 位を占める脳出血・クモ膜下出血・脳梗塞などの脳血管疾患、脳ドックの普及によって発見される頻度が高まった未破裂を含む脳動脈瘤、比較的まれだが治療が困難な脳脊髄動静脈奇形・良性/悪性脳腫瘍・脊髄腫瘍・末梢 神経腫瘍、機能的疾患として三叉神経痛・顔面けいれん・脊椎疾患・てんかん・パーキンソン病・振戦・頭部外傷などを含み、これらの疾患の確実な診断法・安全な治療法の確立が重要です。本研究はこれらの脳・ 脊髄・末梢神経疾患の臨床的特徴を明らかにし、診断法、治療法を研究することを目的とします。

〔研究意義〕

本臨床研究により、脳・脊髄・末梢神経疾患についての広く正しい知見が得られる可能性があり、その新しい知見を基にした新規治療を開発し、患者さんの治療に役立てることができます。

〔対象・研究方法〕

・研究デザイン：本研究は後ろ向き観察研究です。

・研究期間：2024 年 2 月 28 日から 2034 年 3 月 31 日まで

・対象：1990 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の期間に当院を受診して、外来診療・入院加療を行った患者さんのうち、脳・脊髄・末梢神経疾患に対して内科的加療及び外科治療を行い、その臨床・画像情報及び治療経過をカルテより抽出することが可能な患者さん。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部　脳神経外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

本研究に係わる全ての情報の取り扱いには研究対象者の秘密保護に最大限配慮します。個人情報をデータ化する際は、患者氏名及びカルテ番号を被検者識別コードに変換します。この際、個人情報との連結表であります「対照表」のデータファイルを作成し、情報管理責任者が厳重に管理し、試験データの照会時のみに用いられます。研究の結果を公表する際は、被検者を特定できる情報は含まれません。研究終了後は帝京大学臨床研究センターで 10 年間保管の後、廃棄致します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:後藤芳明　（帝京大学医学部脳神経外科学講座講師）
住所:〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医学部附属病院　脳神経外科
TEL:03-3964-1211 （**代表**）〔**内線** 7379〕